

高校公民プリント（過去問類似）
公共（2025年～の共通テスト本試験） No.2

名前

得点

/10

問1 日本の租税制度において、所得再分配機能を果たすために累進課税制度が導入されており、個人の所得に対して課される代表的な直接税（国税）は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 所得税 2. 法人税 3. 相続税 4. 贈与税

問2 2000年代以降、IT産業の発展や旺盛な国内需要を背景に高い経済成長を遂げて一人当たりGDPを大きく伸ばしているものの、原油などの資源輸入の多さから貿易収支の赤字が継続している、南アジアに位置する国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. トルコ 2. インド 3. イラン 4. ラオス

問3 日本の伝統的な雇用慣行において、特定の職務や勤務地を限定せずに労働者を採用し、終身雇用や年功序列型賃金を前提として、企業内での配置転換を通じて多様な職務を経験させる雇用形態を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジョブ型雇用 2. ポートフォリオ型雇用 3. メンバーシップ型雇用 4. プロジェクト型雇用

問4 人工知能（AI）がどれほど高度な処理を行っても、それは事前に設計された規則に従って記号を操作しているに過ぎず、真の意味で言葉の意味を理解しているわけではないということを、部屋の中に閉じこもってマニュアル通りに漢字を処理する人物の例えを用いて説明した、アメリカの哲学者による思考実験を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 経験の機械 2. 水槽の脳 3. マリーの部屋 4. 中国語の部屋

問5 労働者が使用者との対等な交渉力を確保し、労働条件の維持改善を図るために自主的に組織する団体であり、その加入割合を示す指標の国際比較において、日本とドイツのように同水準であっても1時間当たりの労働生産性に大きな差が見られることから、その組織率の違いが直接的に生産性の高低を決定づけるわけではないとされる組織は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 労働金庫 2. 労働組合 3. 共済組合 4. 職員団体

問6 水道事業や電気・ガス事業などの巨大な設備投資を必要とする産業において、生産量が増加するほど、製品やサービス1単位あたりの平均費用が低下する現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 規模の経済 2. 密度の経済 3. 範囲の経済 4. 速度の経済

問7 ドイツの思想家ベンヤミンは、写真や映画などの複製技術の発展に伴う芸術の変容を論じた。彼が、複製技術の普及によって失われると指摘した、芸術作品が「いま・ここ」に存在することに由来する、唯一無二の神秘的な輝きや一回性のことを何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. モード 2. コピー 3. アウラ 4. コード

問8 日本国憲法第39条前段は、ある行為を行った時点において合法であったことに対し、その後に制定された法を用いて刑事責任を追及することを禁じている。国家による恣意的な刑罰権の行使を防ぎ、国民の行動の自由と法的安定性を確保するために確立された、この人権保障上の原則を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 遡及処罰の禁止 2. 二重処罰の禁止 3. 罪刑法定の原則 4. 令状主義の原則

問9 江戸時代の町人思想家である富永仲基は、仏教經典の成立過程を歴史的・批判的に分析した。彼は、後世の思想家が先人の説の上に新たな主張を付け加えていくことで思想や經典が発展・変化したと主張したが、この学説を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 尊王論 2. 古道説 3. 古義学 4. 加上説

問10 個人の身体や正当に獲得した財産に対する絶対的な権利を重視し、社会全体の福祉や弱者救済を目的とするものであっても、国家による課税や財産の強制的な再分配は個人の権利を侵害する不当な介入であるとして、政府の役割を最小限に抑えるべきだと主張する、現代の政治・倫理思想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. イガリタリアニズム 2. リベラリズム 3. コミュニタリアニズム 4. リバタリアニズム

答え合わせ・解説 No.2

| | | |
|-----|---------------------------|---|
| 問1 | 答え 1 所得税 | 個人の所得に対して課される国税であり、所得が多くなるほど高い税率が適用される累進課税制度が採用されている。これにより、高所得者から多くの税を徴収し、社会保障などを通じて低所得者へ再分配することで、格差の社会的な是正と公平性の確保が図られている。 |
| 問2 | 答え 2 インド | 2000年代以降、南アジアのこの国はIT産業の発展や旺盛な国内需要を背景に高い経済成長を遂げ、一人当たりGDPを大きく伸ばしています。しかし、経済成長に伴うエネルギー需要の増加により原油などの輸入額が輸出額を上回っており、貿易収支は赤字基調が続いています。 |
| 問3 | 答え 3 メンバーシップ型雇用 | 日本の伝統的な雇用形態では、職務を特定せずに企業の一員として採用する形態が一般的であった。この形態では、企業内での配置転換を通じて様々な職務を経験させることが前提となる。これに対し、職務内容を明確に定義して契約を結ぶ雇用形態はジョブ型雇用と呼ばれる。 |
| 問4 | 答え 4 中国語の部屋 | サールが提示したこの思考実験は、コンピュータがプログラム（アルゴリズム）に従って適切な出力を得られたとしても、それは記号の形式的な操作に過ぎず、人間のような主観的な「心」や「意識」を伴う理解ではないことを示している。これにより、AIを人間と同等に尊重すべきだという立場に対して、AIには意識や心が不在であるという批判的根拠が与えられる。 |
| 問5 | 答え 2 労働組合 | 労働者が主体となって組織する団体を労働組合と呼ぶ。労働組合組織率と労働生産性の間には直接的な因果関係は認められず、組織率が同水準であっても国によって労働生産性に大きな開きがある。これは、労働生産性が技術水準や産業構造、労働慣行など多様な要因に影響されるためである。 |
| 問6 | 答え 1 規模の経済 | 水道事業などのインフラ産業は、初期に巨額の固定費（設備投資）を必要とする。このため、利用者が増えて生産量（給水量）が増加するほど、固定費が分散されて製品1単位あたりの平均費用が低下する。この現象を「規模の経済」と呼び、これが働く産業では、複数の事業者が競合するよりも単一の事業者が供給する方が効率的になる。 |
| 問7 | 答え 3 アウラ | 複製技術の登場によって、オリジナルな芸術作品が持っていた「いま・ここ」にしかない一回性や本物性としての神秘的な輝きが失われると論じられた。この失われる輝きや一回性のことを「アウラ」と呼ぶ。アウラの消滅は、芸術作品の受容のあり方を儀礼的なものから展示的なものへと変化させ、大衆化を促したとされる。 |
| 問8 | 答え 1 遡及処罰の禁止 | 日本国憲法第39条前段は、「何人も、実行の時に適法であつた行為……については、刑事上の責任を問はれない」と規定している。これは、行為の時に適法であつた行為に対して、事後に制定された法律によって遡って処罰することを禁止する原則である。これにより、国民は行為時に存在した法律に基づいて自らの行動を決定することができ、後から作られた法律によって不意打ち的に処罰されるのを防ぐことができる。 |
| 問9 | 答え 4 加上説 | 富永伸基が唱えた、後世の思想家が前代の説の上に新たな説を付け加えていくことで思想や経典が発展・変化したとする歴史的・批判的な経典研究の学説は「加上説」と呼ばれる。彼はこの説に基づき、仏教経典のすべてが釈迦自身の言葉ではないと論じた。 |
| 問10 | 答え 4 リバタリアニズム | 個人の自由や自己所有権を最大限に尊重する立場であり、国家による介入や財産の強制的な再分配を最小限に抑えるべきだと主張する。ロールズらが提唱する福祉国家的な再分配を批判する文脈で、ノージックらによって理論化された。 |